

# ※にいじまむら 議会だより

第79号

平成28年12月



## 平成28年第4回定例会（12月）

### 会期日程

第4回定例会は平成28年12月5日・6日に開催され、条例改正・各種補正予算などを審査しました。

### もくじ

|           |    |
|-----------|----|
| 一般質問から    | 2  |
| 議長の自ラウンド  | 6  |
| 表敬訪問記     | 7  |
| 公共施設再見（上） | 9  |
| 議員のひとりごと  | 11 |
| 議長の四季報    | 12 |
| 編集後記      | 12 |

# Q & A 一 般 質 問

議員は「住民に代わって」村の行政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて所信や疑問をたずることができます。

**問** 青沼村長の一年間の成果と今後村長は村をどのようにしようとしているのか、村長独自の事業は何か？



山本均 議員

**答** 今年度は高校生の医療費の無償化、放課後子供教室、月一寺子屋、多世代交流、これらの事業を実施してきた。  
式根島高齢者福祉拠点施設整備では診療所の隣に用地を取得し、若郷地区の住民の避難場所に霞山に用地確保に努めている。来年度は超高速ブロードバンドの導入に向けて島内に光回線島内整備を予定している。



式根島の介護施設の建設予定地。

## 表紙は語る

新春の式根島小学校の昼休み。玄関ホールにはベーゴマ・けん玉など昔遊びが並んでいて、先生が遊びを誘ったり、検定をしたりしている。校庭では児童も先生も一緒に遊んでいて、この日もお隣の保育園児も来ていた。『先生、一年生にあがったら担任になって！』と保育園児からの声も。式根島ならではの手作り感のある学校、南向きの小さめの教室、年齢を超えてぎゅっと集まる関係性の中、身も心も温かった。吹き荒れる西風の中でも、校舎の中では半袖の児童・教員もいたほど。

### 議会にいきかう言葉

今後は定住化対策や産業振興を図る中で独自の事業を提案し実行していきたい。

地震・津波災害の初動体制は万全か？

**問** 11月22日の5時59分に福島県沖

で震度5弱の地震があり、新島村では津波注

意報が発令された。この時の村の対応をお訊きする。

**答** 新島村では7時26分に自動放送

で津波注意報の放送をした。同時に村長、副

村長、総務課長、防災担当及び各支所長等に

直接メッセージ電話とメールが発信された。

「議長！」「11番青沼一郎君」――議員の拳手に議長はこう言って指名する。(数字は議席の番号)

この君付けは議員のみならず村長以下居並ぶ役場職員も同じように呼ばれる。昔、国会で某総理が野党議員の質問に答える中で、相手方をさん付けで呼んだことがある。おそらく相手に敬意を表し

てのことと思う。ところが早速、某政治評論家がかみついた。日本の国会の伝統に反する、と。

私たち地方議会の議員もその伝統に習ってのことであろう。一般社会ではなじみが薄いが、議員にとっては頭のスイッチを入れ換えて厳かな緊張感をもたらすまじないとなるのかもしいない。

この後職場へ向かい情報収集を中心に見回り等行った。各支所とも連携をとり、今回の体制は十分であったと報告を受けている。

式根島のゴミ処理事業は？

**問** 9月から式根島ク

リーンセンターの運転を停止し、可燃ゴミは新島へ運搬して処理していると聞く。変更になった処理の方法とその理由を伺う。

**答** 週2回の可燃ゴミ

収集、施設への直接搬入など、受入れ態勢は従来と変わらず、集まった可燃ゴミを専用コンテナで週1回新島地区へ運搬している。

式根島クリーンセンターのランニングコストは発生可燃ゴミ量に対して新島焼却場を上



式根島クリーンセンター内の段ボール紙の袋詰め作業。

回る経費がかかっている。このため可燃ゴミを新島地区に集約し、処理を一本化することで経費の削減をした。

村役場の職員の採用方法は大丈夫？

**問** 今年度の職員採用試験はどのよ

うな方針の元に実施するのか？



**答** 今回は6名の応募があり、選考方法は一次は書類選考、二次は記述で一般教養、三次は小論文・個別面接を行う。

一次の合格者に対して二次を行う。二次の合格者に対して三次を行うが、今回から二次と三次を切り離して別の日に行う。

三次の小論文は原稿用紙800字程度で1時間、個別面接は数名の試験官による受験者1名に20〜30分行う。

三次の採点結果に試験官が順位を確認し、村長に報告する。

木村諭史 議員



村長二年目の政策・産業振興策を問う

**問** 村長の選挙公約を含め、その達成度や今後の展望を問う。また公約を実現するにあたり、村長自らの実感や有効な方法も問う。

ソフト事業には終度というより新たな問題が次から次へと発生しているといった状況である。行政のみでできることは限られており、村内の団体やグループ、個人などの力を有効に活用し

**答** ソフト事業には終度というより新たな問題が次から次へと発生しているといった状況である。行政のみでできることは限られており、村内の団体やグループ、個人などの力を有効に活用し

ていくことが必要であると認識した。

創業・就職時の支援については、国や都の制度の活用も一つの方法であると考えている。

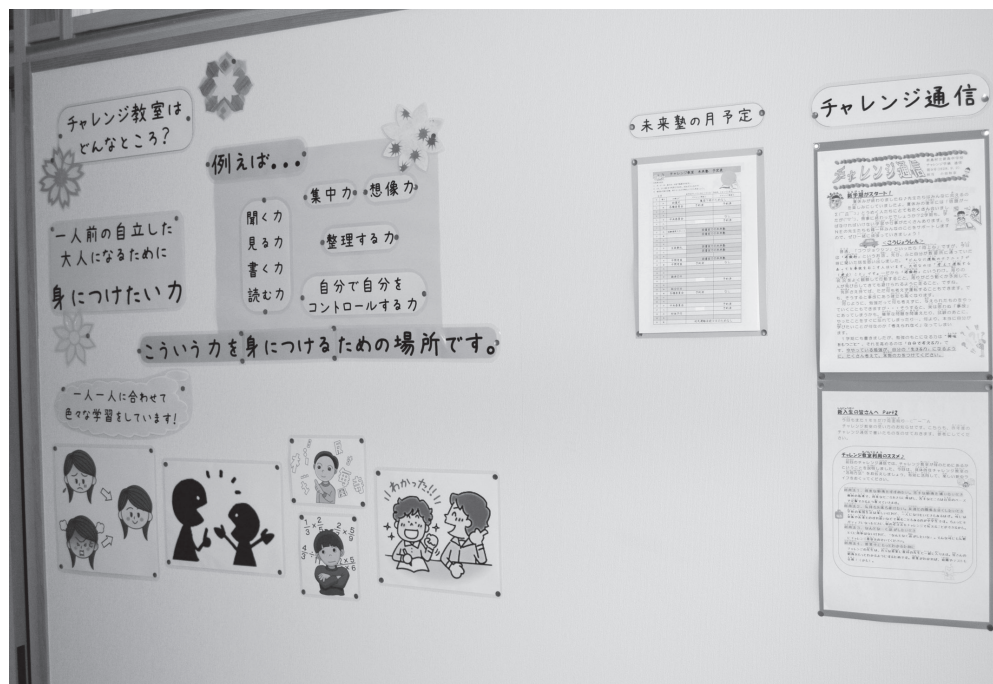
情報の受発信窓口では住宅や仕事・人材の情報など検討していきたい。

住居の課題は喫緊の課題であり、引き続き空き家バンク事業への取り組みと譲渡空き家改修による村直営の定住化住宅提供事業を進めていく。

新島高校での特別支援教育における通級支援体制について

**問** 新島小学校・中学校の通級支援立ち上げに伴い、来春にはその利用世代が新島高校に入学可能な時期にきている。まず特別支援教育利用者のアンケート結果を問う。次に都立高校では

あるが、保小中高一貫教育の観点と新島村の福祉的観点から、村長・教育長の考えを問う。



新島中学校×通級指導学級(チャレンジ教室)の取組みを掲示。

**答** アンケートでは、先生方は適切な指が、中学卒業後の進路に

非常に不安を感じている方が多かった。平成30年度より高校でも通級指導の制度開始を目指し、同30年度に都立のパイロット校1校での検証が行われる。しかし高校においては支援が必要な生徒が在籍するかどうかかわらない段階で、東京都に正規・非正規職員の配属を要望することも不可能である。

連携を深めていくことを申し合わせている。  
移住希望者向けの村営住宅（シェアハウス）の提案

**問** 新島村全体の1ターイン人材の引き込みや定着支援のために、居住歴がなくても入居可能な移住者向け住宅を提案したい。

主に単身の若者向けで、比較的低価格、簡素な個別スペースに交流可能な共有スペースを併せ持ったシェアハウススタイルの住宅の確保は検討に値すると思うが、いかがか？

**答** 新島・式根島に移り住み、仕事をして定住化したいという方々が多数居ることも知りました。空き家バンク・村直営の定住化住宅提供事業、シェアハウス

**答** 高校の特別支援教育コーナーを中心に合理的配慮をしていくと思われる。中学・高校の校長同士で

などの様々な方法を検討していきたい。

前田 卓秀 議員



オリンピック招致について

**問** オリンピック・サーフィン招致について今日（12月5日）までの招致活動で、手応えや反省等ありましたら聞かせて下さい。

**答** 招致委員会の活動として、PR映像の制作、配布、放映、署名活動、SNSを利用した情報の拡散等、各地で招致活動が低迷する中で新島招致の活動は、他

候補地からも声援が届くなど、新島が認知されてきたことは招致委員会の委員各位のご努力によるものが大きいと、心が敬意と感謝を表したいと思えます。反省では、招致活動への取り組みが遅れ、6月の設立まで際立った活動ができなかったことが残念です。



新春、初乗り？ 今年の運勢やいかに？ 羽伏浦。

## 定住化対策

**問** 「しごとをつくる  
合宿」(商工会の  
事業)のプレゼンを見  
て、ネックになっている  
のが空き家対策だと思  
う。空き家の有効活用は  
絶対に必要な事です。今  
後の空き家対策について  
聞かせて下さい。

**答** 今年度から、空き  
家改修の助成制度  
を開始しましたが、希望  
者はお出しておりません。そ  
のような状況から一歩踏  
み出すために、譲渡空き  
家改修による村直営の定  
住化住宅供給事業を実施  
したいと考えています。  
行政が関わることで家主  
の安心感を考慮しつつ、  
取り組んでいきます。こ  
の事業については、今年  
度中に運用に係る要綱を  
策定し、来年4月からの  
運用を目指します。



## 議長の目<sup>アイ</sup>ランド



まず最近何かと話題になる「政務調査費」についてお話しします。

「政務調査費」とは、地方自治法に基づいて政策の調査や研究のために議員報酬とは別に支給されるものですが、新島村議会には「政務調査費」はありません。また、「政務活動費」という言葉も耳にすることがあると思いますが、「政務活動費」とはもとは「政務調査費」だったものが2012年の地方自治法の改正で「政務活動費」と名称変更になったのです。この変更の理由は定かではありませんが、一般的な理解では調査費より活動費の方が使用範囲が広いように思えます。これまで政務調査費でグレーゾーンとされたことが、政務活動費と称することでスッポリ、カバーされるとするならば、いかがでしょう。納税者の立場からしますと、納得しかねるところではないでしょうか。

次に産業廃棄物の一つである瓦礫類であるが、具体例として工作物の新築、改築又は除去により生じたコンクリート破片、アスファルト破片、その他これらに類する不要物と定められている。近年、公共事業等の工事が出るコンクリート片は細かく破碎して袋に詰め島外に搬出して産業廃棄物処分場で処分されることになるが、わざわざ島外に運ばなくてもある程度の大きさのコンクリート片は近場の海で漁礁として利用できないものか？島の周りには漁礁はもともとコンクリートで作っている物、同じコンクリートなのに何故？変な色分けをするのか疑問が湧いてきます。

このように日本の政治にはやたら無駄が多いように思えるのは私一人だけだろうか。



## 東京の深奥、山ふところの町をたずねて 日の出町表敬訪問記

議員 木村諭史

さる 10 月 28 日 金曜日、議員一同に村長と議会事務局を加えた総勢 10 名で、東京都西多摩郡日の出町（1955 年合併で誕生、2008 年より新島村と友好盟約を締結）を訪問した。



### 鉄道のない日の出町。発展のカギは道路網

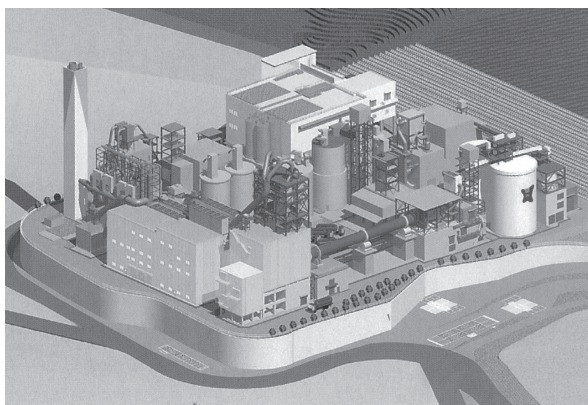
我々は中央線福生駅（福生市）から送迎バスに揺られ、途中イオンモールや誘致企業などを横目に見ながら 25 分ほどで町役場に到着した。日の出町には鉄道の路線や駅がなく、隣市の鉄道駅を利用することになる。その代わり道路交通網が発達しており、圏央道と日の出インターチェンジの開通後、複数の企業誘致に成功し、2007 年にはイオンモールが出店し集客に成功している。人口も 16000 人を超えながらも増加傾向であり、世帯数も税収も増加しているようである。

### 日の出山荘＝豊かな自然と政治の接点

山麓部には『つるつる温泉』を開業し、その向こうには『御岳山』を有しており、参道として温泉や登山も含めた観光も可能となっている。溪流は比較的流れが穏やかで、子供たちが遊ぶには最適であるようだ。訪れた日の出山荘は 1983 年に当時の中曽根康弘首相が所有しており、日米会談の場所として使用されたようである。美しい溪流と調和しながらも政治の舞台としての格調も備えていた。現在は日の出町に寄贈され観光施設として開放されている。

## エコセメントプラント＝近隣のゴミを受け入れ、資源循環へ

多摩地域の 25 市 1 町で構成された東京たま広域資源循環組合による『東京たまエコセメント化施設』と隣接する処分場を見学した。エコセメントとは、可燃ゴミを焼却することで発生する焼却灰を原料にしたセメントであり、同施設では 100% セメントの原料にすることができている。稼働前と比べるとなんと 100 分の 1 にゴミの埋め立て量が減少している。近隣の市からゴミを搬入する都合上、搬入曜日の限定や搬入車の洗浄、埋め立てゴミの飛散防止、計画的な埋め立て管理など、徹底した環境配慮がなされていた。最新技術・人の目を介した管理・周知を徹底することで地域の生活・経済とも調和する施設になっていることが実感できた。



東京たまエコセメント化施設の見取図。

## 新島との接点＝新島交流は抽選になるほど大人気！

山・渓流・平地を有した日の出町であるが、やはり『海』の環境は新鮮であるようで、新島との交流事業は抽選になるほど人気だそうである。今回は先方の議員数名のお子さんも参加したようで、公私とも議員交流もさかんになりそうである。

地域なりに驚くほどの特色があることをつくづく実感し、お互いに異なる環境とそこをつなぐ人がいることの重要性が感じられた表敬訪問であった。

日の出町の橋本町長、東議長及び議員一同と当村の訪問団一行との記念写真





# 公共施設再見

## 第 3 回 新島村温泉ロッジ（上）

『地下鉄の電車はどこから入れるんでしょう？それを考えると夜も眠れない』こういう漫才のネタがありますが、温泉ロッジの営業はいつから始まるんでしょう？それを考えると……。こちらは眠ってはいけない。宿泊客の安全や要望に応えるため 24 時間、人員を配置して様々な事態に対処できるようになっていなければいけない。

議員は昨年末、現場を訪れ、どういう仕事をしているのか色々と話を聞いた。まず運営の中身は、終日は 3 人態勢で朝 7 時から昼は 12 時までやり、夕方 6 時から夜 9 時までの組と朝 9 時から 11 時までやって休憩をとり昼は 12 時から夕方 6 時までやる組に分かれる。これに雑役のパート 1 人分（3 人で都合をつけて分けあう）が加わる。この基本シフトに客の入り込み状況に応じて互いに時間を融通しあって



温泉ロッジの全景。

帳尻をあわせる。あと宿直専門要員が 1 人、夜 9 時から朝 7 時まで務める。

仕事の内容は部屋の清掃、ふとんカバーやシーツの交換、この作業は宿泊客のチェックアウト（朝 10 時）と次の泊り客のチェックイン（正午）の間に済ませるから、混みあっているときは大変そうだ。他に玄関・ロビー・通路それと浴室の清掃、浴衣、シーツなどの洗たくをし、肝心の接客があり、予約の電話対応、客の送迎・相談受付、そして大事な帳簿の記載と現金の管理などがある。この金銭出納の扱いは一日の終わりに集計し、ある程度現金が貯まったら（一週間ほど）産業観光課の担当に引き渡しチェックを受けるといふ。



すっきりした和室のたたずまい。

温泉ロッジの会計は一般会計とは別個の独立した特別会計であり、ここに収入と支出を計上して経営の状態を見ることになる。これまでの実績は、過去3カ年の決算書から洗い出してみると、収入で一番大きいのは当

然、宿泊料。1,640万円（平成25年度）、1,680万円（平成26年度）、1,740万円（平成27年度）と推移していて毎年少しずつ伸びている。残念ながらこれは特殊要因に基づくもので、中学校、高校の新築工事の関係者の常宿となっていたことが大きい。同じように入浴料も伸びていて76万円→95万円→111万円（同様に古い年度順）となる。あとレストラン使用料が毎年60万円ずつ入ってくる。これらが事業収入のすべてとなり、通常の平均的な収入は1,700万円程度か？

支出の方をみると適性かどうかの判断は中々難しい（客が増えれば、当然支出は増え、無駄かどうかの判定は数字だけでは決めがたい）。中間の平成26年度では施設の管理費が470万円。このうち光熱水費、保守点検委託料、燃料費で全体の85%を占める。もう一つの営業運営費は1,270万円。業務賃金、消耗品費、税金の支払いで全体の96%になる。両者合わせて1,740万円（この年度は130万円の利益）。

これらは宿泊施設をやっていく上で当然発生する経費で、無駄を省くことは言うまでもないが、サービス産業であることを考えると単に節約すればいいということにはならない。実際、ほぼ固定費であり、合理化の余地がないとは言いきれないが、節減幅は小さいとみてよい。先ほどの事業収集と合わせて考えるとざっと1,700万円、これが非常に大事なポイントになり、赤字と黒字の分岐点となる。今後ここを一つの拠り所にいかに収入増をはかるか、端的に言えば客足を増やすか、が存続していくための鍵となる（次号に続く）。

## ◇◇◇◇◇◇ 議員のひとりごと ◇◇◇◇◇◇

新島村にも超高速ブロードバンドの時代がやって来る！ ちょっとハシャギ過ぎかもしれませんが。というのも事情通に言わせるとやっと世間並みになるのか、これが正直な気持ちのようですから。とはいえ一日千秋の想いで待ち焦がれていた人たちにとって、やはり慶賀に値することでしょう。関係者のみなさんの御努力には改めて敬意を表します。

これまでインターネットが中々つながらなかつたり、途中で切断されたり、映像の送受信は牛歩以下でありました。村の議会中継では途中で映像や音声途切れ途切れになって苦情がよくあったものでした。これらが一気に解決されるわけですから大きな喜びと言えます。

これで私たちの村の生活が大きく変わるか、と言いますとあまり影響はないのでは、と思われま

す。アメリカの調査では、一昨年のインターネット上のデータの 65.35% は音声、動画配信で、情報コミュニケーションはわずか数%ということでしたから。身近な例でもすでに光ケーブルの敷設されている大島町や八丈町に大きく遅れをとっているかと問われますと、それほどでもないような気がします。でもこれらはインターネットのせいではないでしょう。むしろ私たち利用する側のアイデア不足に由来する、と言った方が正解に近いのではないのでしょうか。



村ではインターネット光回線の利用について協議会を設けてその活用に向けて議論を深めていく、としていますから、とりあえずは期待したいと思います。平成 28 年度は御蔵島・神津島に光ファイバーが敷設され、平成 29 年度に新島・式根島となり、これに合わせて村では同時に村内の光回線網の整備事業を予定しています。

それにしてもこれからはペーパーレスの時代になると言われていたのに紙の使用量は一向に減ってないようだし、村の職員の出張回数もあまり変わってないようにみえます。これは一体どういうことなのでしょう？

( 白 雲 )

## ● ● 議長の四季報 ● ●

- 9月23日 第2回防災会議に出席  
 27日 都市町村議会議員公務災害補償等組合監査及び  
 島しょ町村一部事務組合臨時会  
 28日 山形県鶴岡市、出羽三山神社を表敬訪問  
 10月 3日 三宅島議員セミナーに出席  
 14日 新島高等学校新校舎落成記念式典に出席  
 18日 第27回東京都道路整備推進大会に出席  
 23日 自衛隊観閲式に出席  
 24日 第3回防災会議に出席  
 26日 東京都議長会先進地視察（群馬県榛東村）に参加  
 28日 日の出町に表敬訪問  
 11月 1日 新島小学校 140周年記念式典に出席  
 4日 第2回新島村議会臨時会が開催  
 8日 第35回離島振興市町村議会議長  
 全国大会に出席  
 9日 第60回町村議会議長全国大会に  
 出席  
 20日 式根島開島130周年記念式典に  
 出席  
 23日 平成28年度新島村表彰式に出席  
 29日 議会運営委員会  
 12月 5日 平成28年度第4回定例会（6日  
 まで）



### 編集後記

新年あけて、西風が吹き荒れる中の式根島取材となりましたが、現場に行かないとわからない熱意・工夫を沢山感じることができました。

さて、当議会だよりもいくつかの工夫を始めました。昨年10月末には広報研修セミナーへ参加し、本誌の作成業者との訪問打ち合わせも行いました。

他誌を含めて検証した結果、当議会だよりは、広報にいじまと役割分担するかのように表紙の個人写真や行事取材が少なく、その代わりに議員活動を知ってもらうための『地道なレポート』を多く掲載していることが特徴でした。

紙面改良においては、表題をわかりやすく整理する・一文を短くする・用語説明コラムを入れる・図表には説明をつける、という改善を始めました。少しずつですが、より分かりやすく、議会・議員ならではの活力が反映できる紙面づくりに励みたいと思っています。

● 広報編集副委員長 木村諭史